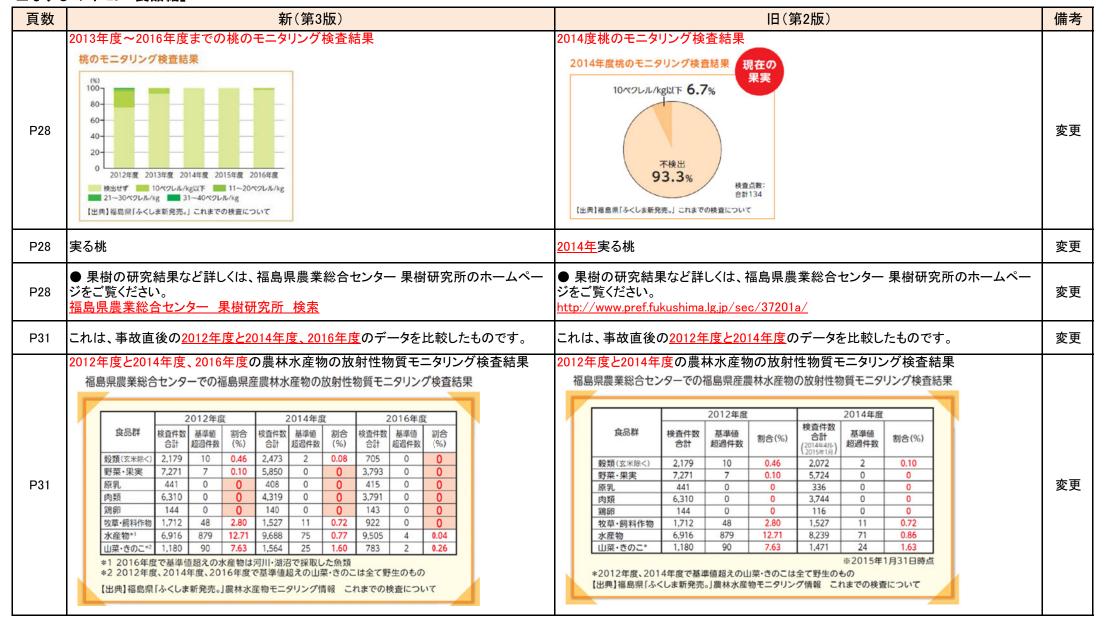
頁数	新(第3版)	旧(第2版)	備考
	2016年産米総検査点数10,241,241点のうち基準値超え点数 0	<u>2014年産米</u> 総検査点数 <u>10,785,779点</u> のうち 基準値超え点数0	
P7	さらに測定下限値未満は <u>99.996%</u> ※測定下限値25ベクレル/kg <u>2017年3月31日時点</u>	さらに測定下限値未満は <u>99.98%</u> ※測定下限値25ベクレル/kg <u>2014年12月31日時点</u>	変更
P7	<u>2015年以降</u> に穫れたお米の検査ではすべてが基準値以下になっています!	<u>2014年に</u> 穫れたお米の検査ではすべてが基準値以下になっています!	変更
P9	※まんがに登場している方の所属・役職は、2014年当時のものです。		新設
P12	2013年度以降、すべての果物が基準値以下で、その多くが不検出です。 検査結果はホームページで公開されています。	2014年度の結果ですが、ほとんどの果物が基準値以下で、その多くが不検出です。 検査結果はホームページで公開されています	変更
P14	そして2011年6月には出荷制限が解除になりました。(*) * <u>当時の</u> 警戒区域・計画的避難区域を除く	そして2011年6月には <mark>県内全域(*)で</mark> 出荷制限が解除になりました。 * 警戒区域・計画的避難区域を除く	変更
P14	<u>私の家では、事故後しばらくは全て輸入飼料を使っていました</u>	現在、私の家では、全て輸入飼料を使っていること以外は事故前の状況に戻りつつあり ますそうなると、また一歩、原発事故前の状態に近づくかな、と思います	変更
P15	(削除) 牧草を刈り取って検査し、基準の数値(*1)以下なら飼料として使えるようになります。	今生えてきている <u>今生えてきている</u> 牧草を刈り取って検査し、基準の数値(*1)以下なら飼料として使える ようになります。	変更
110	<u>除染後、生えてきた牧草から放射性物質は検出されなかったので、2015年の春から、</u> 飼料として使っています。(*2)	そうなると、また一歩、原発事故前の状態に近づくかな、と思います	火
P15	自分で作った牧草で <u>育てられるようになったんですね</u>	自分で作った牧草で <u>育てられるといいですね</u>	変更
P15	*2検査の結果、測定下限値以下(検出せず)が確認され、2015年春から飼料として使 且		新設
P16	<u>*3</u>	<u>*2</u>	変更
P17	※まんがに登場している方の所属・役職は、2014年当時のものです。		新設
P18	<u>検査を始めた2011年度から2016年度までで、約18万点の</u> 検体を検査しました	例えば2013年度は約2万8千点を超える検体を検査しました	変更
P18	<u>6年間で約18万点</u>	<u>2013年度は約2万8千点</u>	変更
P18	<u>じゅ、18万点~~</u>	<u>に、2万8千点~~</u>	変更

頁数	新(第3版)	旧(第2版)	備考
P20	◆詳しくは、 <u>ふくしま復興ステーション「県内における自家消費野菜等の放射能検査」</u> をご覧ください。◆	◆詳しくは、 <u>福島県「県内における自家消費野菜などの放射能簡易検査」</u> をご覧ください	変更
P22	早速ですが、原発事故から <u>時間が経過し、</u> 私たちの身の回りの放射性物質は減っています	早速ですが、原発事故から <u>4年で、</u> 私たちの身の回りの放射性物質は減っています	変更
P26	土壌中の放射性セシウム濃度が5,000ベクレル/kgを超える場合、表土の削り取りを行うことがありました。	うことが <u>あります。</u>	変更
P28	除染の効果としては、例えば桃の樹皮の表面の放射線計測数が <u>約55%</u> 低減(*2)したという結果があります。	除染の効果としては、例えば桃の樹皮の表面の放射線計測数が <u>約56%</u> 低減(*2)したという結果があります。	変更
P28	そして果物 <u>の検査では、2013年度以降、</u> すべての果物が基準値以下でそのうちの多く は不検出(*3)です。	そして果実 <u>について、2014年の検査では、ほとんど</u> 全ての果物が基準値以下でそのうちの多くは不検出(*3)です。	変更
P28	*2【出典】福島県研究情報 H23放射性関連支援技術情報 No.40「モモ樹皮上の放射性物質汚染の実態と樹体洗浄による汚染低減効果」	*2【出典】福島県研究情報 H23放射性関連支援技術情報 No.35「果樹の樹体洗浄による樹皮汚染低減技術」	
P28	セシウム137濃度の経年推移 (2011年度~2016年度まで) セシウム137濃度の経年推移 果実中の 変化 「世史 2011 2012 2013 2014 2015 2016 関連年 [出典]福島県農業総合センター 果樹研究所 成績概要書より作成	セシウム137濃度の経年推移 (2011年度~2014年度まで) セシウム137濃度の経年推移 果実中の 変化 14- 137 12- 2012 2013 2014 関連宣年 [出典]福島県農業総合センター 果樹研究所 [万泉後4か年の葉・果実中CS137濃度の経時推移」より作成	変更
P28	【出典】福島県農業総合センター 果樹研究所 <mark>成績概要書</mark> より作成	【出典】福島県農業総合センター 果樹研究所 <u>「汚染後4か年の葉・果実中Cs137濃度の経時推移</u> より作成	変更



頁数	新(第3版)	旧(第2版)	備考
P31	2012年度と2014年度、2016年度の全量全袋検査結果 ふくしまの恵み安全対策協議会による福島県産玄米の全量全袋検査結果 2012年産 食品群 検査件数 基準値 割合 検査件数 長準値 割合 検査件数 長準値 割合 検査件数 超過件数 (%) 合計 超過件数 (%) 割合 検査件数 基準値 割合 検査件数 基準値 割合 検査件数 基準値 割合 は適件数 (%) 玄米 10,346,169 71 0.0007 11,014,971 2 0.00002 10,242,241 0 *2017年3月31日時点 【出典】ふくしまの恵み安全対策協議会 放射性物質検査情報	2012年度 と2014年度の全量全袋検査結果 ふくしまの恵み安全対策協議会による福島県産玄米の全量全袋検査結果 2012年度 (検査件数 (検査件数 (を)	変更
P31	●詳しい検査結果は国や福島県のホームページでご覧いただけます。 <u>ふくしま新発売。農林水産物モニタリング情報 検索</u>	●詳しい検査結果は国や福島県のホームページでご覧いただけます。 <u>福島県「ふくしま新発売。」農林水産物モニタリング情報</u> http://www.new-fukushima.jp/monitoring/	変更
P33	2016年度のモニタリング検査で基準値を超過したものは、野生の山菜2点、河川・湖沼の魚種4点の計6点のみとなっています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2012年度も基準値を超えた割合は少ないですが、2014年度はさらに減っています。 玄米、野菜・果実、肉類、原乳、鶏卵では、基準値を超えたものはありません。	変更
P33	基準値を超える水産物の割合は年々 <u>減少し、2015年4月以降、100ベクレル/kgを超えた海産物はありません。この検査により安全が確認されているすべての魚介類(*)を対象とした</u> 操業と販売が、試験的に行われています。	基準値を超える水産物の割合は <u>年々減っています。さらに不検出の割合も増加しています。</u> また、この検査により安全が確認されているマダコやコウナゴなど58種(2015年1月現 <u>在)の魚種に限定した小規模な</u> 操業と販売が、試験的に行われています。	変更
P33	<u>* 2017年4月26日現在 計176種</u>		新設
P33	福島県産水産物の放射性物質調査の結果	福島県産水産物の放射性物質調査の結果	変更

頁数	新(第3版)	旧(第2版)	備考
P33	【出典】福島県 水産物の環境放射線モニタリングの概要より作成(2017年3月16日更新)	【出典】福島県 魚介類の放射線モニタリング検査結果より作成 「基準値(100ベクレル/kg)を超えた海産魚介類の検体数・割合と、不検出の検体数・ 割合」(2015年1月15日更新)	変更
P17	小山 良太 福島大学 経済経営学類 教授	小山 良太 福島大学 経済経営学類 教授 うつくしまふくしま未来支援センター 副センター長	変更
P17	震災・原発事故後の福島県の農業問題に取り組んでいます。特に農地の放射性物質の調査、安全検査体制の提案、風評被害対策です。食と農の復興に関する最新の知見を学ぶ「ふくしま未来食・農教育プログラム」や、学生とともに県産品をPRする「復興マルシェ」なども手がけています。	福島大学経済経営学類の小山ゼミでは、毎年3年生の学生が中心になり農業に挑戦する「おかわり農園」という活動をしています。「おかわり農園」では、お米はどのようにつくられているのか、安全でおいしいお米ができるにはどのような対策が行われているのかを学生自身が体験しながら学び、体験を通して、福島のおいしさ・魅力と安全性の発信と地産地消促進のきっかけづくりを目指しています。 ● 詳しくは、「おかわり農園」のブログをご覧ください。 http://koyamazemi2014.blogspot.jp	変更
P17	塚田 祥文 福島大学 環境放射能研究所 <u>副所長</u> 教授	塚田 祥文 福島大学 環境放射能研究所 教授 うつくしまふくしま未来支援センター 農・環境支援部門長	変更
P17	環境放射能研究所 検索	● 詳しくは、福島大学のホームページをご覧ください。 環境放射能研究所 http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/	変更
P17	● 詳しくは、福島大学のホームページをご覧ください。 うつくしまふくしま未来支援センター <u>検索</u>	● 詳しくは、福島大学のホームページをご覧ください。 うつくしまふくしま未来支援センター <u>http://fure.net.fukushima-u.ac.jp</u>	変更
表4	福島県福島市栄町1-31 Tel.024-529-5668 10:00~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日) http://josen.env.go.jp/plaza/	福島県福島市栄町1-31 Tel.024-529-5668 10:00~17:00 休館日/月曜日(祝日の場合は翌日) http://josen-plaza.env.go.jp/	変更
表4	なすび写真	なすび写真	変更
表4	なすび ●プロフィール福島県出身のタレント、俳優 福島県立福島東高等学校、専修大学法学部卒業 劇団「なす我儘」主宰、丸福ボンバーズ所属 (削除)	なすび ●プロフィール福島県出身のタレント、俳優 福島県立福島東高等学校、専修大学法学部卒業 劇団「なす我儘」主宰、丸福ボンバーズ所属 日本芸術専門学校特別講師	削除
表4	● 除染と中間貯蔵施設に関するお問い合わせ窓口 0120-027-582 受付時間 9:30~18:15(日祝除く)	 ■ 国による除染に関するお問い合わせ窓口 福島: Tel.024-523-5391(8:30~17:15 土日祝除く) 東京: Tel.03-6741-4535(9:30~18:15 土日祝除く) 	変更

頁数	新(第3版)	旧(第2版)	備考
表4	<u>平成29年7月 第3版</u>	<u>平成27年2月 第2版</u>	変更